



いたわり

第43号
平成27年2月発行
社会福祉法人 富士会
ISO9001認証取得



特別養護老人ホーム ケアハウス ヴィラトピア知立
〒472-0022 知立市山屋敷町富士塚1番地336
TEL (0566) 83-1020
FAX (0566) 83-5310
Webpage <http://www.villatopia.org/>
e-Mail tokuyo@villatopia.org

『年頭に当たり』

副理事長・特養施設長

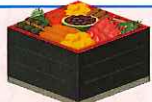


深谷英子

謹んで新年のお祝詞を申し上げます。
旧年中は格別のご厚誼にあずかり、感謝にたえ
ません。篤く御礼申し上げます。

昨年は御嶽山の噴火という、身近なところで
災害に心が痛む一年でしたが、年末には愛知から
ノーベル賞受賞という、世界に誇る物理学者が二
人も選ばれ、同郷というだけで胸を張れる思いを
いただきました。皆様に於かれましては2015
年、心躍る一年の幕開けを迎えられたこととお慶
び申し上げます。

さて、介護保険の改正が目前となり否応なしに
やってきます。介護保険料負担増、要支援者の排
除、特養入所対象者制限、補給付見直し等々。
介護保険の御利用がしづらくなるのではと懸念い
たしております。一方、私の幼少の頃のように、
お隣さんもお向いさんも家族の一員のような、支
え合う地域づくりが求められています。私共は社
会福祉法人の一員として改めて『誠意』と『地域
貢献』の二つをスローガンに、地域と共にある施
設として更なる努力をしていく所存でございます。
本年も相変わらずのご指導、ご鞭撻を賜ります
よう宜しくお願い申し上げます。



特養



3月にはお抹茶会があります。昨年は事務職員とご利用
者様のご家族様に大正琴を弾いて頂きました。それにあわせ
て楽しく歌を唄ったり、お抹茶の先生が来てくださって、お
抹茶の点て方を教えてもらいました。点てたばかりのお抹茶
とお饅頭をおいしくご利用者様と職員で頂きました。
今年も楽しいお抹茶会にな
るといいなあと思います。



ケアハウス



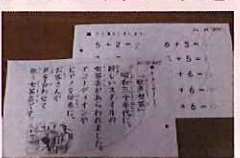
「新年祝賀会」にて、新しい年の幕開けを祝いました。
理事長の挨拶の後、皆さんに今年の目標を聞いて回ると、
「もっと歩けるようになって旅行に行きたい」「認知症予
防で始めた中国語講座に、休まず通いたい」との声。
「体力向上大作戦」が浸透し、
一日でも長くケアハウスで過
ごして頂きたいと願うスタッフの
気持ちから、ご利用者様の気持
ちにも張りが出て来たようです。



デイサービス



学習療法を導入して1年半が過ぎました。基本的には職
員1名に学習者2名で行うので、職員の名前をなかなか憶
えてくれなかった方も憶えてくださったり、接点のない方
同士でも会話する機会が出来ました。また帰宅願望のある
方も学習すると落ち着かれるなど、驚きと共に良さを実感
しています。半年に一度は、認知機
能や記憶力を測定できる認知機能検
査(MMSE)も行っており、大半
の方が現状維持という結果が出てい
ます。



小規模特養



小規模特養ヴィラトピア知立は、開所四年目になりました。
「本年の抱負」は、ご利用者様やご家族様が喜んでいただ
けるような、新たな試みを
考案し実行する事です。
どうぞご期待くださいま
せ。そして「今年の願い」は、
皆様方がケガや病気の無い
一年でありますように。
(職員全員の願い)



富士会グループ

- 特別養護老人ホーム ヴィラトピア知立
- 小規模特養 ヴィラトピア知立
- ケアハウス ヴィラトピア知立
- 介護付き有料老人ホーム ワンズヴィラ池鯉鮒

- ヴィラトピア知立 老人短期入所事業所
- ヴィラトピア知立 デイサービスセンター
- ヴィラトピア知立 ホームヘルパー派遣事業所
- ヴィラトピア知立 指定居宅介護支援事業所
- ヴィラトピア知立 在宅介護支援センター

ISO9001マネジメントシステムを共有

- 特別養護老人ホームヴィラトピア知立
- 小規模特養ヴィラトピア知立
- ケアハウスヴィラトピア知立
- 有料老人ホームワンズヴィラ池鯉鮒



褥瘡対策委員会

生活の場である当施設では、ご利用者様の健康管理を十分行っていますが、中には身体状況によって床ずれ（褥瘡）が起こりやすい方がいます。床ずれ（褥瘡）をつくらないように予防をし、リスクを減らすことが大切です。委員会ではご利用者様の全身状態の確認、基本知識の構築、栄養状態などリスクの軽減について話し合いを行っています。褥瘡予防には多職種でのチームケアが大切になってきます。全員で予防できるよう実践していきます。

科学的介護

今年度、当法人の4大テーマの一つに「科学する」があります。ちょっとわかりにく言葉ですが、全国老人福祉施設協議会が提唱する「科学的介護」に由来します。

「科学的介護」とは、過去の実践から導き出された根拠のある方法論であり、自立支援を中心とした介護を行い「おむつゼロ」を目指したりします。つまり「人間らしく生きる援助」こそが介護であり、この人間らしさの生命活動を分析し、どう援助するかを体系化することです。この考えをすべての事業部に適応させ、「見える化」などで分かりやすくしていこうとの考えが「科学する」です。今後のヴィラトピア知立にご期待ください。

編集後記

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。旧年中のご愛顧、誠にありがとうございました。本年も広報誌「いたわり」をさらに良くし、ご愛読して頂けるよう邁進して参ります。本年も引き続き、ヴィラトピア知立をよろしく願います。皆様のご健康でご多幸であります。すよう、心からお祈り申し上げます。

ご寄付ありがとうございます
加藤芳江様 濱本毅様
(平成二十六年八月) 平成二十六年十一月末日
他にも多くのご家族様、関係者並びにご利用者様、更にはショートステイ・デイサービス・ケアハウス・ヘルパー・小規模特養をご利用の皆様からのお心尽くしを頂戴しております。
厚くお礼を申し上げます。

今後の行事予定

特養	
二月四日(水)	豆まき
三月中	抹茶会
三月一三日(金)	彼岸法要
六月中	演芸会